

### 大山幼稚園・大山小学校学校運営協議会

(兼 第2回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会)

◆日時 平成28年6月27日(月) 16:30~18:00

◆場所 大山小学校 学習ルーム

#### 1 開会のことば

(進行 大山小 教頭)

#### 2 教育長あいさつ

- ・オープンスクールは幼・小・中の先生方が同じ子どもたちを見て研究を深める、意義のある取り組みである。午前中は幼稚園、午後は小学校の参観、更には教科毎の研究協議会にも多く参加いただいた。併せて学校運営協議会を開催した。皆様から活発にご意見いただきたい。
- ・「これからの大山地域を考える～地域の人と人との関わりを広げていくために」という大山小からの提言について、皆さまからのご意見を頂きたいと思っている。
- ・平成23年度から10年計画で、大玉村の教育基本計画を進めている。前期の5年間を振り返って、平成28年度からの「大玉村総合教育基本計画後期計画(概要版)」を作成した。縦軸と横軸の広がりのおおたま学園、横軸の広がりがコミュニティ・スクールを中心とした「地域社会・家庭」となる。これら二つの広がりが大玉の教育の基本となる。この概要版を基に本村の教育の特色についてコミュニティ・スクール委員の皆様にもご理解いただきたい。

#### 3 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会会長あいさつ

- ・理科の授業参観と分科会に参加させていただいた。「昆虫を育てる」という題材が、幼稚園、小学校、中学校それぞれの段階でどういう意味があるのかということ先生方が意見交換していた。「おおたま学園」の意味はそういったところにあるのかと思う。今日は幼稚園の参観等、午前から参加されている方もいらっしゃるが、よろしくお願ひします。

#### 4 おおたま学園コミュニティ・スクール委員自己紹介

- ・各委員より自己紹介があった。

#### 5 協議 (進行 後藤副会長)

- (1) 本日の協議内容説明
  - (2) 大山幼稚園の取り組みについて(15分)
- ・以下の3点について、副園長、担当教員から説明があった。
    - ①大山幼稚園経営・運営ビジョンについて

②目指すべき幼稚園の姿から～今年度の取り組み

- ・子どもが生き生きと活動する幼稚園について
- ・子ども・教師・保護者が共に育つ幼稚園について
- ・安全・安心で、笑顔があふれる幼稚園について
- ・家庭・地域と連携・協働し、地域とともにある幼稚園について

③重点目標の取り組みから

- ・自ら進んで意欲的に学ぶ子の育成について
- ・身近な人とかかわろうとする子の育成について
- ・心も体も健康な子の育成について

【CS 委員からの質問・意見等】

- ・運動遊びについて、重点的に指導くださっていて良いと思う。ただ、ボールを「投げる・取る」という動作が不十分のように感じた。
- ・小学校との交流については今後も是非続けていっていただきたいと思う。
- ・施設面について、環境は明るく良いと思う。安全面から鉄骨製の柱には、全体的に覆いを被せたほうが良いのではないかと思った。
- ・芝生について、はだしで遊ぶこともでき大変良いと思う。

(3) 大山小学校の取り組みについて (15分)

- ・以下の4点について、小学校の担当教員から説明があった。
  - ①大山小学校経営・運営ビジョンについて
  - ②地域と学校をつなぐ教育活動について
    - ・活動例を上げ、その成果と課題について説明があった。
  - ③学力向上の取り組みについて
    - ・チャレンジタイム、朝の時間の活用について今年も継続している。また、児童、教員へのアンケートの結果から、できていること、できないことを明確化し、それを受けて今年度の重点事項としていることを説明があった。
  - ④生徒指導について
    - ・生徒指導協議会、あいさつ運動、不登校について説明があった。

【CS 委員からの質問・意見等】

- ・あいさつについて、子ども達はあいさつが身に付いていてすばらしい。
- ・聞いた話のメモを取る、分からないことについて自分で調べるなどのことは、社会人になって必要なこと。小学校で指導して下さっていることはありがたいと思う。
- ・自然について学習させることが、今の時代大変になっている中、先生方が工夫されていることが分かった。
- ・水泳指導について、玉井小で行っている着衣泳法の指導を大山小でも取り入れたらどうか。

#### (4) 意見交換

##### 【小学校からの提言】

○これからの大山地域を考える～地域の人と人との関わりを拓げていくために～

- ・総合的な学習の実践から、大山のよさ、大玉のよさを教師自らも気付き、子ども達も感じている。しかし、家庭ではどうだろうか。村の伝統行事など知らない家庭も増えていると感じている。そのため、学校や地域が連携して取り組める住民参加型のイベントなどを提案し、問題提起とした。

##### 【小グループでの協議（2分程度）で出された意見等】

- ・大玉村に従来から住まわれている方と新しく住所を移された方との違いについて考えていくことは大切なことである。大玉村として人材を育てていく事を目標として、提言にあったようなイベントを一過性のものではなく、将来性を見据えて継続性のあるイベントにしていくことが大切なのではないか。
  - ・以前は区民祭等の行事を通して近隣との接点が生まれた。提言にあった、ウォークラリーなどは良い提案だと思う。
  - ・村の歴史や文化については、前から住んでいる人でも、知らないこともあるなど感じている。
- 各委員がこれらの協議を受けての考えを持ち帰り、それぞれの立場で話題提起することとした。

##### 〈諸連絡〉

- 第3回コミュニティ・スクール委員会は、7月7日（木）18：30～ 於：改善センター  
・おおたま・オータムフェスタの関係団体との合同会議となる。

#### 6 閉会のことば



大山小学校 公開授業の様子



学校運営協議会の様子